

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートかしはら たいよう

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者様等の意向を真摯に受け止め、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	4			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修にぐわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録している。	
17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2			
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	3			

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			事業所の入り口に苦情箱を設置すると共に、電話等があれば詳細を確認したうえで速やかに対応している。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	32	個人情報に十分注意しているか	4			一人ひとりの個別ファイルを厳重に保管している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		基本的に如何なる場合においても身体拘束を行っていない。 必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上でサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	3	1	事案があれば紙に記載してヒヤリハットファイルに綴じています。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせい地震行動訓練)』に参加しています。

		チェック項目	はい	どちらもない いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者様等の意向を真摯に受け止め、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	4			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修にくわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録している。	

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	3		
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			事業所の入り口に苦情箱を設置すると共に、電話等があれば詳細を確認したうえで速やかに対応している。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	32	個人情報に十分注意しているか	4			一人ひとりの個別ファイルを厳重に保管している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			基本的に如何なる場合においても身体拘束を行っていない。 必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上でサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	3	1		事案があれば紙に記載してヒヤリハットファイルに綴じています。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせい地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートかしはら 銀河

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			
	2	職員の配置数は適切であるか	3			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	3			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	3			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			外部研修にくわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1		
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録している。	

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3		学校卒業の利用者がいないため就労移行の情報提供・引継ぎを行うことが無い。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		1	
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2		1	
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布している。
	32	個人情報に十分注意しているか	3			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1		保護者の方への周知は不十分かもしれない。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		3		身体拘束を行わないので、放課後等デイサービス計画に記載することが無い。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	3			出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めている。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせ地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートかしはら 大海

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			プレイルームや食堂・静養室等活動内容を決めた部屋を作っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	3			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか		3		今後ホームページで公開していく予定。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			外部研修に比べ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			毎朝ミーティングの時間を設けており、その際に支援内容の確認等を行っている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			支援終了後に職員全員が揃わない場合は翌朝のミーティングで振り返りを行っている。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			日々の業務日誌で記録を行っている。

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			計画相談員と連携を取ながら定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			中高校生が利用の為、学校・保護者様・関係機関との間で情報共有と相互理解に努めています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			今後検討していく。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3			ケースに応じた対応を行っています。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			
	31	定期的にチラシ等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	3			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		策定はしているが、今後保護者様への周知を徹底して行う。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート・避難場所の確認をしています。また法人全体で「ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせ地震行動訓練)」に参加しています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		基本的に如何なる場合においても身体拘束を行っていない。 必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上でサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		医師の指示書に基づく対応は行っていないが、保護者様にアレルギーの確認を行い、対応している。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	3		出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めている。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせ地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートかしはら 大河

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			プレイルームや食堂、静養室等活動内容を決めた部屋を作っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか		4		今後ホームページで公開していく予定。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修にくわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングの時間を設けており、その際に支援内容の確認等を行っている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		支援終了後に職員全員が揃わない場合は翌朝のミーティングで振り返りを行っている。
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日々の業務日誌で記録を行っている。	

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			計画相談員と連携を取りながら定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	今後取り入れていけるように検討していく。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		ケースに応じた対応を行っている。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的にチラシ等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布している。
	32	個人情報に十分注意しているか	4			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3	1	策定はしているが、今後保護者様への周知を徹底して行う。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート・避難場所の確認を行っている。また、法人全体で「ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせ地震行動訓練）」に参加している。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4		如何なる場合においても身体拘束を行っていない。必要のある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分説明し了解を得た上で、サービス計画に記載する。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4		医師の診断書に基づく対応は行っていないが、保護者様にアレルギーの確認を行い対応している。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めている。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせ地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートこおりやま 宇宙

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			各活動目的のスペースが区切られており、明確化されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			角がある所には安全クッションを貼り、扉の開閉等も必ず支援員が行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者様等の意向を真摯に受け止め、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	4			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修に比べ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			勉強会やネットなど、あらゆる情報を取り入れ、工夫や改善を重ねている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			一人一人の課題を見極めて、目標を立てスモールステップで取り組んでいます。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		出来る時もあるが、送迎の兼ね合いでできない時もある。翌日のミーティングで共有している。
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録している。	

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	2		
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			利用者だけの情報ではなく、家族内の情報も共有している。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2		時々児童館や公園へ行き、体を動かす活動を行っています。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		助言等は行っていますが、保護者様に利点となっているかが分からない。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に細かく説明しています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			電話や相談があればその都度対応しています。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			事業所の入り口に苦情箱を設置すると共に、電話等があれば詳細を確認したうえで速やかに対応している。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	32	個人情報に十分注意しているか	4			一人ひとりの個別ファイルを厳重に保管している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月1回の避難訓練を行っていると共に実施日をチラシに掲載している。年に1度防災センターへ体験に行っている。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			基本的に如何なる場合においても身体拘束を行っていない。 必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上でサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			事案があれば紙に記載してヒヤリハットファイルに綴じています。

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせい地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートせいわ 大地

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			食堂やプレイルーム、学習スペース等活動する内容に応じて部屋分けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	5			危険と思われるところにはカバーを取り付けている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	5			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			外部研修にくわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			職員間で案を出し合っている。また、利用者様にもリクエストを聞き参考にしている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			季節の行事も取り入れながらマンネリ化しないよう工夫して行っている。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝、職員間でのミーティングを行い、利用者様の様子や、その日の送迎、プログラムなどの確認をしている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		職員間でのコミュニケーションを密に行い、些細な事でも情報共有するよう心掛けている。
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1			

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	2		
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		保護者様や相談支援の方とも連携を取り、情報共有を行っている。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		研修という形にまでは至っていないが、助言は受けている。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	2	
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時にプログラムの内容や様子を細かく伝え、家庭での様子等も伺い、情報共有に繋げている。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時や問い合わせがあった場合に伝えている。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			送迎時や電話連絡等あった場合、対応している。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			事業所の入り口に苦情箱を設置すると共に、電話等があれば詳細を確認したうえで速やかに対応している。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		法人全体での会報等は定期的ではないが、発行しており、事業所の活動内容などを記載しているチラシは毎月発行している。
	32	個人情報に十分注意しているか	5			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			専門用語などは使わずに、できるだけ分かりやすい言葉で伝える工夫をしている。

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		職員での情報共有はできているが、全ての保護者様に周知できているかは計り知れない。今後、徹底していきたい。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的に避難訓練の実施日を設定し、訓練を行っている。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			現状、身体拘束を行う状況に至っておらず記載をしていない。必要になった場合には、組織的に決定し、保護者様の了解を得て行っていく。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			保護者様にアレルギーの有無を聞き対応を行っている。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4	1		

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせい地震行動訓練)』に参加しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ファミリーサポートせいわ 大地の森

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			・学習スペースが確保できている。 ・遊び場所を移動式カーベットで区切っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3			・必要に応じて、加配を行っている。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	3			・メンテナンスを行いつつ、日々変更を行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	3			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			外部研修にくわえ、週1回内部勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3		・ツールとして職員図書の充実を図っている。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1		・プログラムの固定化の必要性も考慮し、つながりのあるプログラム立案を行っている。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1		
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			毎朝、職員間でのミーティングを行い、利用者様の様子や、その日の送迎、プログラムなどの確認をしている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			・送迎後の時間がそれぞれのため、その日の振り返りは難しい。日常的に支援の話は行っている
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1		
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	1		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	2		

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1		・ご家庭に任せるところが多くあったため、今後学校との調整を行っていく。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			・専門機関への出向が多く、密に連携をとれている。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	2	地域へのイベント参加は行えている。 しかし交流は行えていない為、防災教育などから機会を設定する。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2		
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	2		・利用者負担など即時回答を行えるようにしていきたい。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1		・体制の周知等は行えていない為、お便り等で周知を促す。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	3			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			
非	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3		・周知の為、玄関に特設コーナーを設置している。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			・月に一度地域の防災訓練に沿うように、防災訓練を実施している。

非常時等の対応	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	2		・研修があれば参加したい
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			基本的に如何なる場合においても身体拘束を行っていない。 必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上でサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			・ご家族様の承諾を得て、指示書の保管を行う。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	3			

Q31：当法人では『健康だより』を発行し、保護者へ配布しています

Q35：事業所のある市町村のハザードマップを常備し、避難ルート、避難場所等の確認をしています。

法人全体で『ナラ・シェイクアウト(奈良県いっせい地震行動訓練)』に参加しています。